

# 大磯町の統一的な基準による財務書類（令和2年度 一般会計等）概要

## ① 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を表示しています。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）		負債の部（将来世代が負担する金額）		
1 固 定 資 産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育館、 町営住宅、地区集会所など	171億7,092万円	1 固 定 負 債 (1) 地方債 74億8,239万円	
	(2) インフラ資産 道路、公園、橋梁、上下水道など	218億5,446万円	(2) 退職手当引当金 22億1,123万円	
	(3) 物品、ソフトウェアなど	1億7,685万円	(3) その他の固定負債 2億2,590万円	
	(4) 投資その他の資産	33億6,259万円	2 流 動 負 債 (1) 1年以内償還予定地方債 7億897万円	
			(2) その他の流動負債 1億6,220万円	
			負債合計 107億9,069万円	
2 流 動 資 産	(1) 現金預金	6億3,316万円	純資産の部（現在までの世代が負担した金額）	
	(2) 基金、未収金など	11億8,037万円	純資産合計	335億8,766万円
資産合計		443億7,835万円	負債及び純資産合計	443億7,835万円

## ④ 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して表示することで、町がどのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

前年度末資金残高（繰越金）	9億1,864万円
本年度資金収支額	△3億173万円
1 業務活動収支 税金、国県等補助金、人件費など	7億7,206万円
2 投資活動収支 公共施設等整備費支出、国県等補助金など	△9億9,181万円
3 財務活動収支 地方債等発行、償還など	△8,198万円
本年度末歳計外現金残高（預り金）	1,625万円
本年度末資金残高（来年度繰越金）	6億3,316万円

## ③ 純資産変動計算書

町の純資産（資産から負債を引いた残り）が年度内どのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

前年度末純資産残高	329億635万円
本年度変動高	6億8,131万円
△純行政コスト	△119億5,695万円
財源 (町税、地方交付税、 国県等補助金)	123億8,271万円
資産形成への充当	4億5,904万円
その他	△2億349万円
本年度末純資産残高	335億8,766万円

## 令和2年度大磯町の資産と負債の状況

① 住民1人当たりの資産と負債残高 (令和3年1月1日現在人口 32,711 人)

資産 = 136万円 負債 = 33万円

② 純資産比率（今までの世代の負担済分）… 75.7%

社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合（社会資本形成の世代間比率）【純資産／総資産】

③ 有形固定資産減価償却率（資産の老朽割合）… 61.2%

償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】

※ 令和2年度末現在：償却資産取得価額等： 227億3,603万円 減価償却累計額： 139億518万円

④ 負債比率（資産合計に対する負債の割合）… 24.3%

この比率が低いほど財政状況が健全であることを示します。

## 令和2年度大磯町の資金収支の状況

① 業務活動収支 7億7,206万円 ⇒ 堅調な財政運営  
 ② 投資活動収支 △9億9,181万円 (基金積立、資産形成)  
 ③ 財務活動収支 △8,198万円 (将来世代の負担の軽減)  
 ①～③の合計である令和2年度の資金収支は △3億173万円

前年度資金残高との合計は 6億3,316万円

## ② 行政コスト計算書

町の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	123億8,804万円
人件費 人件費、退職手当引当金繰入など	22億7,905万円
物件費等 物件費、減価償却費、維持補修費など	26億2,246万円
その他の業務費用 支払利息など	9,040万円
移転費用 補助金等、社会保障給付、他会計繰出金など	73億9,613万円
経常収益	4億3,973万円
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	119億4,831万円
臨時損失 災害復旧費など	1,287万円
臨時利益 資産売却益など	423万円
純行政コスト (純経常行政コスト+臨時損失－臨時利益)	119億5,695万円

### ● 「統一的な基準」に基づく財務書類の公表について

大磯町では、町民の皆さんに町の財政状況をよりよく理解していただくため、平成28年度決算から国が示す「統一的な基準」に基づいた地方公会計財務書類4表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成し公表しています。

### ● 令和2年度の財政運営について（総括）

令和元年度と比較すると、資産は約6億3百万円の増加、負債は約78百万円の減少、純資産は約6億82百万円の増加となっています。結果として、将来世代の資源となる純資産が増加したことから、令和2年度は、将来世代が使用できる資源を積み上げられたこととなります。

コスト面では、純行政コストが前年比149.5%となりましたが、これは新型コロナウイルスに係る定額給付金の影響によるものです。この経費についての財源は国からの交付があり、純資産変動計算書の財源に計上され町の収支に負の影響はないものの、今後も引き続き新型コロナウイルス対策経費をはじめとした様々な経費の増大が懸念されます。令和3年度以降はより一層コストの縮減を意識し、健全な財政運営に努めます。

問い合わせ  
大磯町 政策総務部 財政課  
〒255-8555  
神奈川県中郡大磯町東小磯183  
電話：0463-61-4100  
FAX：0463-61-1991

# 大磯町の統一的な基準による財務書類（令和2年度 全体会計）概要

## ① 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を表示していません。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）		負債の部（将来世代が負担する金額）		
1 固 定 資 産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育館、 町営住宅、地区集会所など	171億7,092万円	1 (1) 地方債 164億7,664万円	
	(2) インフラ資産 道路、公園、橋梁、上下水道など	401億8,846万円	(2) 退職手当引当金 22億2,445万円	
	(3) 物品、ソフトウェアなど	14億887万円	(3) その他の固定負債 86億524万円	
	(4) 投資その他の資産	40億464万円	2 (1) 1年以内償還予定地方債 12億5,264万円	
			(2) その他の流動負債 3億6,449万円	
			負債合計 289億2,346万円	
2 流 動 資 産	(1) 現金預金	10億7,147万円	純資産の部（現在までの世代が負担した金額）	
	(2) 基金、未収金など	14億4,587万円	純資産合計	363億6,677万円
資産合計		652億9,023万円	負債及び純資産合計	652億9,023万円

## ④ 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して表示することで、町がどのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

前年度末資金残高（繰越金）	11億3,792万円
本年度資金収支額	△8,270万円
1 業務活動収支 税金、国県等補助金、人件費など	11億6,029万円
2 投資活動収支 公共施設等整備費支出、国県等補助金など	△15億7,826万円
3 財務活動収支 地方債等発行、償還など	3億3,527万円
本年度末歳計外現金残高（預り金）	1,625万円
本年度末資金残高（来年度繰越金）	10億7,147万円

## ③ 純資産変動計算書

町の純資産（資産から負債を引いた残り）が年度内にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

前年度末純資産残高	356億789万円
本年度変動高	7億5,888万円
△純行政コスト	△181億999万円
財源 (町税、地方交付税、 国県等補助金)	186億1,332万円
資産形成への充当	4億5,904万円
その他	△2億349万円
本年度末純資産残高	363億6,677万円

## 令和2年度大磯町の資産と負債の状況

① 住民1人当たりの資産と負債残高	(令和3年1月1日現在人口 32,711人)
資産 = 200万円	負債 = 88万円
② 純資産比率（今までの世代の負担済分）・・・	55.7%
社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合（社会資本形成の世代間比率）【純資産／総資産】	
③ 有形固定資産償却率（資産の老朽割合）・・・	34.7%
償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】	
※ 令和2年度末現在：償却資産取得価額等： 415億6,620万円 減価償却累計額： 144億755万円	
④ 負債比率（資産合計に対する負債の割合）・・・	44.3%
この比率が低いほど財政状況が健全であることを示します。	

## 令和2年度大磯町の資金収支の状況

① 業務活動収支	11億6,029万円	⇒ 堅調な財政運営
② 投資活動収支	△15億7,826万円	(基金積立、資産形成)
③ 財務活動収支	3億3,527万円	(将来世代の負担の軽減)
①～③の合計である令和2年度の資金収支は	△8,270万円	
前年度資金残高との合計は	10億7,147万円	

## ② 行政コスト計算書

町の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	188億9,712万円
人件費 人件費、退職手当引当金繰入など	23億8,565万円
物件費等 物件費、減価償却費、維持補修費など	33億5,235万円
その他の業務費用 支払利息など	2億9,400万円
移転費用 補助金等、社会保障給付、他会計繰出金など	128億6,512万円
経常収益	8億191万円
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	180億9,521万円
臨時損失 災害復旧費など	1,901万円
臨時利益 資産売却益など	423万円
純行政コスト (純経常行政コスト+臨時損失－臨時利益)	181億999万円

● 「統一的な基準」に基づく財務書類の公表について  
大磯町では、町民の皆さんに町の財政状況をよりよく理解していただくため、平成28年度決算から国が示す「統一的な基準」に基づいた地方公会計財務書類4表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成し公表しています。

● 令和2年度の財政運営について（総括）  
令和元年度と比較すると、資産は約52億39百万円の増加、負債は約86億32百万円の増加、純資産は約33億93百万円の減少となっています。これらの大幅な増減については、下水道事業の法適用に伴う会計基準の変更により、資産が約45億23百万円、負債が約87億9百万円増加し、純資産が約41億86百万円減少したことが主な要因と考えられます。  
コスト面では、純行政コストが前年比127.2%となりましたが、これは一般会計等と同様に、新型コロナウイルスに係る定額給付金の影響によるものです。今後も引き続き新型コロナウイルス対策経費をはじめとした様々な経費の増大が懸念されます。令和3年度以降はより一層コストの縮減を意識し、健全な財政運営に努めます。

問い合わせ  
大磯町 政策総務部 財政課  
〒255-8555  
神奈川県中郡大磯町東小磯183  
電話：0463-61-4100  
FAX：0463-61-1991

# 大磯町の統一的な基準による財務書類（令和2年度 連結会計）概要

## ① 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を表示していません。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）		負債の部（将来世代が負担する金額）		
1 固 定 資 産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育館、 町営住宅、地区集会所など	171億7,092万円	1 固 定 負 債 (1) 地方債 171億6,499万円	
	(2) インフラ資産 道路、公園、橋梁、上下水道など	401億8,846万円	(2) 退職手当引当金 22億2,610万円	
	(3) 物品、ソフトウェアなど	14億1,107万円	(3) その他の固定負債 86億659万円	
	(4) 投資その他の資産	40億5,910万円	2 流 動 負 債 (1) 1年以内償還予定地方債 12億5,264万円	
			(2) その他の流動負債 3億6,555万円	
			負債合計 296億1,587万円	
2 流 動 資 産	(1) 現金預金	12億8,128万円	純資産の部（現在までの世代が負担した金額）	
	(2) 基金、未収金など	21億5,166万円	純資産合計	366億4,662万円
資産合計		662億6,249万円	負債及び純資産合計	662億6,249万円

## ④ 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して表示することで、町がどのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

前年度末資金残高（繰越金）	12億336万円
本年度資金収支額	6,179万円
1 業務活動収支 税収、国県等補助金、人件費など	13億535万円
2 投資活動収支 公共施設等整備費支出、国県等補助金など	△15億7,798万円
3 財務活動収支 地方債等発行、償還など	3億3,442万円
比例連結割合変更に伴う差額	△13万円
本年度末歳計外現金残高（預り金）	1,626万円
<b>本年度末資金残高</b> （来年度繰越金）	<b>12億8,128万円</b>

## ③ 純資産変動計算書

町の純資産（資産から負債を引いた残り）が年度内にとのよう増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

前年度末純資産残高	357億4,358万円
本年度変動高	9億304万円
△純行政コスト	△226億4,888万円
財源 (町税、地方交付税、 国県等補助金)	232億9,617万円
資産形成への充当	4億5,889万円
その他	△2億314万円
<b>本年度末純資産残高</b>	<b>366億4,662万円</b>

## 令和2年度大磯町の資産と負債の状況

① 住民1人当たりの資産と負債残高 (令和3年1月1日現在人口 32,711人)

資産 = 203万円 負債 = 91万円

② 純資産比率（今までの世代の負担済分）・・・ **55.3%**

社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合（社会資本形成の世代間比率）【純資産／総資産】

③ 有形固定資産償却率（資産の老朽割合）・・・ **34.7%**

償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】

※ 令和2年度末現在：償却資産取得価額等： 415億6,620万円 減価償却累計額： 144億755万円

④ 負債比率（資産合計に対する負債の割合）・・・ **44.7%**

この比率が低いほど財政状況が健全であることを示します。

## 令和2年度大磯町の資金収支の状況

① 業務活動収支 **13億535万円** ⇒ 堅調な財政運営  
 ② 投資活動収支 **△15億7,798万円**（基金積立、資産形成）  
 ③ 財務活動収支 **3億3,442万円**（将来世代の負担の軽減）  
 ①～③の合計である令和2年度の資金収支は **6,179万円**

前年度資金残高との合計は **12億8,128万円**

## ② 行政コスト計算書

町の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	234億4,235万円
人件費 人件費、退職手当引当金繰入など	23億8,801万円
物件費等 物件費、減価償却費、維持補修費など	34億5,428万円
その他の業務費用 支払利息など	3億4,307万円
移転費用 補助金等、社会保障給付、他会計繰出金など	172億5,699万円
経常収益	8億825万円
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	226億3,410万円
臨時損失 災害復旧費など	1,901万円
臨時利益 資産売却益など	423万円
<b>純行政コスト</b> (純経常行政コスト+臨時損失－臨時利益)	<b>226億4,888万円</b>

● 「統一的な基準」に基づく財務書類の公表について  
 大磯町では、町民の皆さんに町の財政状況をよりよく理解していただくため、平成28年度決算から国が示す「統一的な基準」に基づいた地方公会計財務書類4表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成し公表しています。

● 令和2年度の財政運営について（総括）  
 令和元年度と比較すると、資産は約53億82百万円の増加、負債は約86億32百万円の増加、純資産は約32億48百万円の減少となっています。これらの大幅な増減については、全体会計同様、下水道事業の法適用に伴う会計基準の変更が影響しています。  
 コスト面では、純行政コストが前年比126.4%となりましたが、これは一般会計等及び全体会計と同様に、新型コロナウイルスに係る定額給付金の影響によるものです。今後も引き続き新型コロナウイルス対策経費をはじめとした様々な経費の増大が懸念されます。令和3年度以降はより一層コストの縮減を意識し、健全な財政運営に努めます。

問い合わせ  
 大磯町 政策総務部 財政課  
 〒255-8555  
 神奈川県中郡大磯町東小磯183  
 電話：0463-61-4100  
 FAX：0463-61-1991

※表中、表示単位未満は四捨五入のため合計が一致しない場合があります。